信條の綱領

一、吾等は永遠の生命と無限の向上とを要求す、この要求に応ずるものが即宗教なり。永遠の生命とは不滅の自覚なり、無限の向上とは人格の完成、価値の生活なり。

二、吾等は無限の時間と空間とを超越せる宇宙唯一の主体なる道と愛との独尊を信奉す。道は宇宙の大道、天地の法則、万物秩序の原理にして愛は人格の中心、慈悲の源、万法帰一の根源なり。此の主体を名づけて如来とす。如来は吾等の本尊なり。

三、如来は絶対の慈悲者にして、衆生は絶対の帰依者なり。此の帰依の相が即ち念仏なり。生仏不二なり、神人合一、天地一体の妙諦なり。

四、斯の妙諦より出づるもの、是ぞ永遠の生命にして、又これ無限の向上価値の生活、人格の完成なり。至心に念仏するものは自ら斯の妙境に到達す。人生の意義は要するにこの妙境の体現に外ならず。